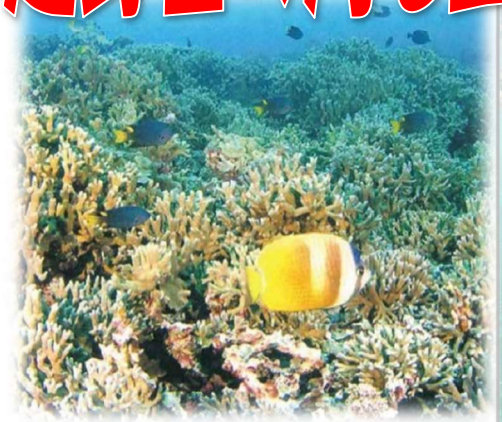
辺野古の海を土砂で埋めるな！サンゴを壊すな！

3.11 横浜集会

沖縄の民意を踏みにじり、辺野古の海に土砂が投入され続ける。沖縄県の再三にわたる行政指導、いくつもの法手続きを無視して、米軍基地建設のために、生物多様性に富んだサンゴの海が壊されていく。こんな無法が、なぜ許されるのか！

集会では、二月二四日に予定されている「県民投票」直後の沖縄現地から、報告と問題提起を受ける。またサンゴの生物学者が、政府・防衛省の「環境保護対策」のウソを暴く。多くの参加を！



▲辺野古の海（名護市作成のパンフから）

3月11日(月)18時半

横浜市開港記念会館6号

（JR関内駅南口10分、みなとみらい線日本大通り駅①出口1分）

◆講　師　**高里鈴代**さん・**大久保奈弥**さん

◆資料代　800円

主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会

★代表世話人：仲宗根保（鶴見沖縄県人会元幹事長）・高梨晃嘉（元横浜市議）

★連　絡　先：090-4822-4798 深沢（沖縄講座@横浜）

後援：神奈川平和運動センター・基地撤去をめざす県央共闘会議

〈辺野古のサンゴは今〉

▲大久保奈弥（おおくぼなみ）さん‥東京経済大学准教授。サンゴ等の海洋生物研究。防衛省の環境対策の杜撰さを批判。

〈沖縄からの訴え〉

▲高里鈴代（たかさとすずよ）さん‥オール沖縄会議共同代表、基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表。